



びょういんだより

2009年 1月新春号
宮川動物病院
(025) 245-3411
<http://www.miyagawa-ah.com/>

冬の健康管理～この時期気をつけること(犬編)～

明けましておめでとうございます。

新しい年になり、新潟の寒さはこれから厳しさを増していきます。

愛犬・愛猫の健康を保つ為にも、この時期はどんなことに気をつけてあげたらいいのかをご紹介しますと思います。今回はわんちゃんについてです。

冬は気温が下がり、空気が乾燥しやすい時期で、人間が風邪を引きやすいように、動物も抵抗力が落ちていきます。この時期はウイルス等の感染症に気をつけましょう。
また、動物の皮膚は温度や湿度の影響を受けやすく、冬場は乾燥するため特にフケが出やすい時期でもあります。
フケが出る原因は、皮膚病、アレルギー、ストレス等様々です。
皮膚が新陳代謝をしていれば必ず出るものですが、フケが出過ぎるなどの場合には皮膚病の可能性もありますので、早めの受診をおすすめします。



??どんなことに気をつけたらいいの??

❗ ハウスやケージなどに冷たい空気が吹き込まないように保温してあげましょう。

❗ ストープ等がある部屋では、わんちゃんが近づき過ぎないように注意してください。(やけどなどのケガにつながります。)



❗ 加湿器などを使って、空気の乾燥を防ぎましょう。



❗ 洋服は通気性の良いもの、アレルギーを起こしにくいものを選び、必要がない時には着せない。



❗ 日頃からブラッシング・シャンプーをしてあげましょう。ブラッシングは毛のもつれや抜け毛が取れるだけでなくマッサージ効果もあり、皮膚の異常の早期発見につながります。

❗ シャンプー剤は体質に合ったものを選ぶ。(場合によってはコンディショナーで保湿してあげる。) 乾かすときはタオルで十分に水気をとってから、熱すぎない温風で乾かしましょう。



1・2月診察時間の変更

現在変更はありません。

予定が変わることがあります。最新の予定はホームページで確認できます。

気温の変化等によって体調を崩しやすい季節です。
いつもと違うと感じた時には、病院での早めの受診をおすすめ
します。